

総 社 市 教 育 委 員 会 会 議 録

1 開 会 平成26年7月18日 午前10時0分

2 閉 会 平成26年7月18日 午後0時23分

3 場 所 総社市保健センター2階 資料展示室

4 出席又は欠席した委員

出席委員

委員長 林 直 人

委員長職務代理者 米 谷 正 造

委 員 下 山 洋 子

委 員 三 宅 眞砂子

委 員 (教育長) 山 中 榮 輔

欠席委員

委 員 小鍛治 一 圭

5 会議に出席した者

教育次長 矢 吹 政 行

参事兼庶務課長 三 村 和 久

学校教育課長 東 長 典

生涯学習課長 佐 近 昇

文化課長 谷 山 雅 彦

庶務課課長補佐 富 森 賢 一

6 会議録署名委員

山 中 榮 輔 米 谷 正 造

7 付議事件

議案第19号 平成27年度使用小学校教科用図書の採択について

原案可決

8 議事の概要 別紙のとおり

開会 午前10時0分

林委員長 ただいまから教育委員会を開会いたします。

この教育委員会には、議案1件が付議されておりますが、議事の都合により本件については最後に審議をしたいと思っておりますのでご了承願います。

では、会議録の署名委員についてであります。

会議録署名委員は、会議規則第19条の規定により、出席委員中、山中榮輔委員、米谷正造委員の2名にお願いします。

では、報告事項の最初に、東中の不祥事の未然防止研修についてということで、報告をお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

総社東中学校長 おはようございます。この度の不祥事につきまして、教育委員の皆様、それから関係の皆様に変なご迷惑をおかけしましたことを、改めてお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。市教委からいろいろご指導いただきながら、学校の改善へ向けて今取り組んでいる最中でございます。今お手元の方に学校改善へ向けてという資料、A4の横向けのものをお配りしております。ここに挙げています具体的な事をちょっとご説明いたします。

本校の課題を今、いろんな面から捉えまして、まずは教職員の意識改革ということで、今回の不祥事について自分のこととして捉え、改善策を意識できるようにということで、全員が感想文を書きましたが、それを読んだところ、本当に我が事と考え、そして、今東中が抱えている課題を具体的に挙げ、そのためにはどういうことが必要かということ、いろいろ提言を多くの教員がしておりました。これをスタートとして、また信頼回復のために頑張っていこうということにしております。

で、管理職がこれまできめ細かく指導してきましたが、やはり、特に若手教員に対して教科指導や学級経営、生徒指導、部活動についての悩みを聞くことがまだまだ不十分でありました。そこで、今、管理職三名おりますが、もちろんこの三名が、いろいろ話を聞くんですが、やはり核となる教員、具体的には学年主任、それから指導教諭、養護教諭等、こういった核となる教員から若手教員に対して声掛けをして、平素から悩みや、あるいは困っていることを聞き取り、そして学校全体で考えていくという風にしていきたいと思っております。

それから、教職員の負担軽減、2番目のところですが、教科指導、校務分掌、生徒指導、保護者対応、部活動等、本当にいろんなことが多岐に渡っております。今までもそうでしたが、一人で抱え込まずに、学年団や学校全体で取り組む。特に保護者対応では、我々管理職が積極的に関わり、担任の負担を軽減するというをやっていきたいと思っております。実は懇談が先日ありまして、懇談の時に保護者の方が、ちょっとした部活動の顧問の一言で、これは子どもに対する人権侵害じゃないかということをおっしゃったので、すぐ事情を聞いて、すぐその日のうちに家庭訪問を私とその顧問でいたしまして、そして、保護者にもお詫びをし、こちらからご説明をし、納得していただきました。その後市教委にもお電話が下山

先生の方にあつたようですが、そういう風とにかく迅速に誠意を持って対応していく。それが負担軽減に繋がると考えています。

それから、部活動を一生懸命やっております。いい成績を出すんですが、やはりそれが加熱し過ぎるということで、土曜、日曜のどちらかは、本当は毎週どちらか休めばいいんですが、実態としては月2回程度は交代で、顧問が複数おりますので、交代で休むと。大会前はなかなか難しいんですが、一年間を通してそういったつもりでやっていきたいと考えています。特に若手の教員が休みたいということは言いにくいところもあるので、ベテランの教員から若手教員へ休むように声掛けをしていきたいと思っています。それから、だらだらと一日やるのがいいとは限りませんので、2、3時間で効率よく練習を行うということも更に研究していきたいと思っています。

それから、各教職員が得意分野や持ち味を生かしてお互いに協力し、助け合いながら教育活動を行っておりますが、まだまだ不十分なところがありますので。やはり、頑張っているところは、例えば大会で優勝したとか入賞したところははっきりするんですが、表には出てこない、地道に教材研究をして、きちんと授業をして力を子ども達につけさせている教員。あるいは生徒指導で、ある教員は、不登校の生徒の所へ毎週土曜に足を運び、もうその子は担任しか会えないような状況で、非常にお父さん、お母さんも感謝して下さっておりますが、そういった見えないところで頑張っている教員に対して、それを認めるということも更にしていきたいと思っています。それから、月一回くらいのペースで学年会を開いていますが、リラックスしたところで、お互いの悩みや困っていることを出し合える、そういった学年会もこれから、憩いのコーナーというのを職員室の奥に作りましたが、そういったところや校長室を活用して、こういった学年会も作っていききたいと思っております。

最後の教職員の状況把握で、労務管理というのがまだまだ不十分でありましたので、反省しております。部活動の記録簿を見て、月二回の休養がとれていないようなところは、そういう教員に対しては私達が面談を行い改善を図ると。とにかく休むようにと指導していきたいと思っております。それから、普段からお互いに情報共有を心掛け、協力し合いながら、年次休暇等休みを取りやすい雰囲気を作っていきたいと。今もホワイトボードに年休や特休、振り替え等は、事前に副校長の方に申し出て取りやすい雰囲気にはしておるんですが、なかなか教員によっては、ほとんど休まない教員がおります。その辺はこちらから話をして、休める時は休むようにという風にしております。

いずれにしても、東中は落ち着いた良い学校というイメージがございまして、その見えないプレッシャーの中で教員も生徒も頑張っておりますが、頑張り過ぎずに、本当に生徒にとっては学校へ来るだけでも、本当によく頑張っているということ。それから教員に対しても、先ほど申し上げたように表には出てこないところで非常に皆さん頑張って下さっている、その辺を評価して、少しでも多忙感がやりがい感になるようにしていきたいと思っております。

それから、昨年度、男の子、女の子の二人が亡くなるという痛ましいことがありまして、今年度は絶対3人目を出さないということで、今具体的には、学校だよりに載せておりますが、夏休み中の登校日を8月5日に特別に、各学年、全校登校日と同じように全学年登校しまして、午前中かけて担任が一人ずつ教育相談を行います。事前にアンケートを今日配りまして、その前に回収しまして、困っていることとか話したいことがある場合には、ということで把握した上で、この時に教育相談を行うことにしております。

それから、気になる子が実際には、私から見ると限りでも、2年生には四人から五人。1年生にも三人ぐらい。3年生はあんまりいないですが。そういった子がおりますので、その子については、担任の方が、随時学校へ来るように。部活動へ来ればいいんですが、部活動がない場合には学校へ来るように言ってそこで話をしたり、それから養護教諭を交えて保護者との懇談も夏休みに予定しております。去年のように後でしておけばよかったということのないように取り組みたいと思っております。以上です。

林委員長 ただいまの報告について、ご意見等ございますか。

山中教育長 僕が言うのも何なんですけど、学校の先生は長く学校にいるのが美德というか、評価されるような雰囲気があるんですよね。その文化をなくすということが一番大事だと思いますね。何が一番大事かという、やるべきことをできるだけ早くやって早く帰ることが大事なんです。そういう風に今の文化を一遍壊して、新しい文化を作っていただきたいと思います。そこからでないと、たぶんうまくいかないんじゃないかと思っています。

林委員長 なにか他にございますか。

米谷委員 やっぱりこう、ずっと緊張し続けると疲れてしまうのは、特にまた今回こういう風にいろいろ対応策をされていて、やっぱり緊張と弛緩をうまくバランスをとるということも、雰囲気というんですかね、そういうものも必要なのかなあと。特に先生方皆さん、今緊張されていると思うので。そういうところもやっぱりケアしていく必要があるかなという風に思いますね。

下山委員 東中の先生方すごく、あれ以後というか、いろいろ頑張られている様子、ありがとうございます。それで、やはり先生達の憩いのコーナーというのができて、様子の早期発見ができる場として利用して下さるということで、いいことだと思います。それに向けては核になる教員を指導して、若手教員からの声をいっぱい聞くということが大切になると思うので、管理職の先生達は、そういう核となる先生達への指導の方もまたお願いしたいところです。

それから、遅くまで仕事をしているのがいいという風潮はありましたけど、それがいいのか、時間がかかってできないから遅くなっているという先生もいると思うので、早く仕事をするために、学年団で声掛け支え合いという仕事の部分の声掛け、支え合いもできる学年団になればいいかなと思っています。

それから、部活動をなるべく交代で休むというような話もありましたが、どの部も全部そ

れができますかね。いろんな部があつて、本当に人数の少ない部もあつたり、先生達も頑張り屋さんが多いから、休まずにするような部があるのではないかなという不安が一つ。それから、部活動がない時、試験前なんかも、先生達テスト週間は大変忙しいと思うけれど、そういう時こそ、今日は何時退所みたいな感じで声掛けができるといいなと思って聞きました。よろしくをお願いします。

総社東中学校長 下山委員が仰るとおり、部活動、複数の顧問、2人から3人つけているんです。主の顧問と、それから副。で、副の顧問は主が出れない時に練習に交代で出たりとか、試合の引率ですとか。本当に正直申し上げると、吹奏楽部なんかは正直、なかなか交代で休めないというのがあります。実はこの8月の第一週に県のコンクールがあり、そして8月22日に中国大会があるんですが、普通ならお盆の一週間はどの部も休むんですけど、その関係上休めない。それから、吹奏楽は、日曜の午前中以外はまずやっておりますので、それはやっぱり複数で対応しないとなかなかできない。ただ、今回も指導教諭の方が、もう一人の顧問の方が非常勤講師ですが、教員採用試験がありましたので、採用試験の二月前は、土曜日曜も休めということで休ませております。で、採用試験に専念したということです。

下山委員 ありがとうございます。

林委員長 部活はその主の顧問が指導をして、たぶん副が出て子どもは言うこと聞かないだろうし、指導もできないんじゃないですかね。専門性がなければ。

総社東中学校長 そうですね、なかなか技術的には。

林委員長 実際に形だけで、そこら辺のところ難しいよね。

小鍛治委員 私の高校の時なんですけども、毎日部活をするのはそんなによくないと。土日はやっぱり試合で出たりするので、週の真ん中に、必ず部活の休みの日を監督が作った。その代わり、集中して練習をするようにというので、それは定着したと思います。だから、必ず土日というのではなくて、平日に一日だけ休みをとる。で、その代わりその日は我慢してできないんだけど、できる時に集中してやるというような意識をすればいいのではないかなと思います。

総社東中学校長 実は、水曜日は部活の休止日にしておるんですが、大会がその週にある場合にはしてもいいことにしておりますので、結構一年間で水曜日にやっている日もあります。ただ一応、休止日ということで水曜日にはやらないで早く帰らせようとしています。

米谷委員 外部指導者の制度があつて、今県教委の方が予算もつけてやっていますよね。ああいうのをうまく活用すれば、専門の種目の方が、地域の方が指導される。今年度はもう締め切っていると思うんですけど、次年度以降ちょっと検討されたいかがかなと思います。

総社東中学校長 今も実際サッカーの方で、とものさんというコーチの方には今来ていただいたりしております。

林委員長 最後に、校長先生は何か悩みはありませんかね。すごいプレッシャーがかかっていると思うんですけど。

総社東中学校長 正直申し上げて、本当に困った時には市教委の方に連絡をさせていただいて、非常に助けてもらっております。で、今本当に困っていると言いますのは、毎年新採用を2人、多い時は3人、東中は採ってきましたので、今職員の年齢層が50代以上のベテランと、若い20代がかなり別れております。で、30代後半から40代が、元々県内でも薄いところなんですけど、少なくなってきております。だから、女性の教員を年齢順に並べていきますと、本当にもう30代半ばの体育の教員がもうベテランの方に入ってしまうような、いびつなあれになっております。ですから、少しその辺の中堅、いわゆるミドルリーダーになるような人がもう少し増えてくれれば、いろんな面で助かるというのが学校の運営上はあります。でもこれは、新採用の人が入ってくれて、活性化していることは確かです。その両面がちょっとありますので。

林委員長 組織の年齢構成ということで。

下山委員 一つお尋ねなんですけれど、先生達への改善、学校改善は出ています。それで、あれ以後の先生の部活の子ども達、クラスの子どもの不安面、精神的なことについてはいかがでしょうか。

総社東中学校長 まず部活動の方は、2人の顧問でやってきまして、もう一人の顧問を中心にして。それからあともう一人お手伝いしてもらっていますので、部活動は何とか。この前も備南東の地区大会で頑張りまして、今度県大会に行くようになっております。で、クラスの方は青野先生。ベテランの今年末で退職の先生が担任の代行をして下さいまして、生徒も懐いて、非常にクラスの方もうまくいっております。保護者懇談も無事昨日で終わりました。保護者の方からも特別不満を言われることもなく、今は運動会と文化祭が秋にあります。その合唱の曲を決めたり、練習をしております。ですから、非常に先生が頑張っておきまして、去年からそうなのですが、例の3年生の女の子が亡くなった時にも、先生が学年主任で頑張っておきまして、今もそのクラスの方も落ちついて。でも、見えない部分では持っている子がおりますので、それは随時スクールカウンセラーの下野先生に教育相談していただいたり、担任の方でみております。

下山委員 ありがとうございます。

林委員長 組織を作っていくのは大変だと思いますけど、今出ているようなことを少しずつやっていただきたいなと思います。

総社東中学校長 ありがとうございます。

林委員長 それでは次に教育長の報告をお願いします。

山中教育長 先ほど話がございましたように、不祥事対策の研修会。7月3日に校長研修、9日に園長研修をやりました。その概要はまた後ほどご報告します。それから、5月29日から始まった学校と園の訪問をずっとやっておりまして、今でだいたい23園校。37ですから半分ちょっと終わったと。あと14校園、それが二学期になります。それから、15日

には教科書採択の会議がありまして、それは後ほど付議事項に入っていますので、その中でご説明いたします。

昨日、県の教育委員会と連絡会がありまして、その中でいろんなテーマがあったんですけども、一つは頑張る学校応援事業というものについて、当初の改善案が出まして、新聞等にも載っていたと思いますけれども、単一校じゃなしに中学校区でやれるということと、教育委員会の推薦をもってやるということ。それからもう一つは教育委員会経由でお金を渡す。で、この学校の活動に対して教育委員会が寄与した場合は、教育員会にも付与するという。そういう風に完全じゃないんですけども、市町村の教育委員会と校長会の意向を一部取り入れた案になっておりますので、その方法で受け入れようというのが、各市町村教育長の意見ということになります。ただ、玉野市だけはですね、全校申請する。全校申請して、採択されてもお金はもらわない。どういう意味か分からないんですけど、そういうことを教育長が説明されました。私自身はこういうやり方はあんまり正しくないと思います。教育に競争原理を持ち込むというのは、ある程度は仕方がないかもしれませんが、それをどこまでやるのか、ビジョンがない。お金で人を釣るようなやり方に受け取られるとマイナスになるということで、もっと議論をすべきだという風に言っているんですけども、できたら拒否したいと思ったんですが、昨日市長といろいろ話をしました。市長会でですね、もらえるものはもらおうという方向で片岡市長が発言をされた時に、市長会自体がそっちへ動いたということで、市長と教育長が全然違うことを言うのも非常に問題だし、ある程度妥協しようかと思っています。総社市の実態から言いますと、この前は学校への一括交付金といいますか、提案制度でいろんなことを提案していただいて、そのいい提案にはお金を出すという形で進めてきているんですけど。中学校区、4校区の中でですね、3校区しかお金が渡せなかった。1校区は渡っていない。それは総社中学校区で、総社中学校区は、非常に努力したことは間違いない。特に総社中学校は、学校が安定していなかったんですけど、この2年間で非常によくなった。学校の成績もよくなった。先生方も努力をしてですね、毎日校門の前に立って、全員立って子ども達を迎え、挨拶をするなど、いろんな努力をされてここまで来ているということなので、総社中学校区で申請をしようかと思っています。トータル3000万円。小学校20、中学校10なんですけども、8月25日が締め切りでしたかね。提出をして、9月に審査をする。で、数回その審査委員会を開いて、実態把握を市町村の教育委員会と合同でやると。たぶん現場に来られるんじゃないかと思いますね。それを経て、最終的に10月に決定するということになるようです。あとは、県の学力調査の結果、それから文化財保護審の件につきましては後で報告がありますのでよろしくお願いします。以上です。

林委員長 次に「岡山県学力・学習状況調査の結果について」事務局から説明をお願いします。

風早学校教育課主幹 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明に対するご意見、ご質問等はありませんか。

山中教育長 学校毎に特徴ある活動をしているところがあるんですね。それが効果があると実感している先生方、校長先生がいるわけですから、そういうことをご説明した方がいいと思いますよ。一般的なことでなしに。

例えばね、東小が改善したので校長先生と話をしました。放課後学習をやらせてるんですけど、地域の人に支援してもらっている。地域の人達に任せるだけでなく、問題集をやらせるんですけど、グレード別に分けていて、子どものレベルに応じて順番にやっていくんです。それを添削してボランティアの人が教えていくという風に、工夫をしている。同じ子ども達のフォローのやり方でも学校によってかなり違う。阿曾がどうしてこんなに良くなったかとか、もう少しそういうことをきちっと解析してヒアリングして、それを校長会でレビューして、最終的に教務主任にデータとして渡して参考にしてもらおうという風にしたいですね。従来成績があんまりよくなかった常盤も国語が非常によくなっている。何故よくなったかと、ちょっと具体的な効果のところがよく分かっていない。総社小学校はもっと上がるはずだったけど、上がり方が足りないとか。じゃあ何が悪かったというんじゃないですけど、そういうことをちょっとコメントを入れて言ってもらいたい。僕らがやれる部分、先生がやる部分、それから地域も巻き込んでやらないといけない部分。当然、これお金がいるわけです。この子ども達がどういう風に伸びたかというのは、本当は子ども単位に見ていかないといけないですけど、そういうデータベース化しようと思うと、春先と二学期の終わりに一斉テストをやって、業者に全部評価をさせて、どういう風に伸びたかというのを学級単位にフィードバックするとかですね。そういうことをやらないと、結局先生方の負荷が増えることになってしまう。これだけ渡すだけではなしに、どうサポートするか何が効いたかというのを共有するような仕組みを考えていかないといけないと思っています。

米谷委員 下がった部分もそれなりの何らかの理由があるんでしょうね。

山中教育長 ええ、個別にはないですけど、本当はそういうことをここへ付けてもう一回レビューをしないと、これだけでは、点数だけでいっちゃうのは駄目で、変化点が何か、どういう努力をしたからこういう変化が起きたか。こういう努力をしたんだけど変化がなかったというのは何故かというのを、やはり共有化しないと。

米谷委員 阿曾小学校も、放課後に地域の方を交えてやられているんですか。東小みたいに。

風早学校教育課主幹 阿曾小の方はそういう取り組みはいたしておりません。が、入学をした時から、学校はこういうものですよとか、先生が言ったことはこうやって復習をさせて下さいねとかいうことを、小さい時から徹底しております。例えば何ですが、私もこの前スクールコンサートということで、くらしき作陽から学生さんに演奏に行っていただいたわけなんですけど、サクスを4本持って来てサクスカルテットをしたわけなんですけど、「後で聴くよ」ってお姉さん達が、これは「ソプラノサクスって言うんだよ」、「これはアルト

サックスって言うんだよ」って言う説明をしました。「後で聞くよ」っていうその言葉が大事なんだそうですが、そうすると子どもは、見つめながら、「アルトサックス、ソプラノサックス」って全部吹きます。で、校長先生とお話をしましたら、この「後で聞くよ、これは大事だよ」ということを、そうやって子ども達はきっちり復習をしたり、確認をする。それは一年生の時から、これはこうしますよっていうことを伝えたことによって、学区の中でずっとそれが培われているというのが一つあります。それから、授業に行かれる先生が、今日この子達にどういう目的で授業をする中で、自分の授業をきっちりチェックを自分でしながら、これができているかっていうことをしながら授業をしている。そういう効果が現れているというものがあります。以上でございます。

山中教育長 視点がちょっと違います。阿曾の子は、いろんな子がいるのはコンディション一緒なんですけども、心が育っていると言うんでしょうか、白神校長先生が自問掃除をやられていたんです。この子達が一年生の時から年を追っていく度に感想文を書いているのを見せてもらったんですけど、明らかに成長しています。授業を見ても標準化されています。どこの教室に行っても、同じパターンが決めてあるわけです。それでチェックシートがあつてですね、これは関川さんという先生が作られたんですけど。ラミネートの中にちゃんと入っていて、十数項目あるんですけど。授業のあと教員が必ずそれを自分でチェックする。だから授業の標準化がしっかりできている。子ども達も落ち着くように、メンタル面のトレーニングもやっている。この2つが効いているんじゃないかと思うんですけど。また、授業中の集中度が高い。放課後学習というか、家に帰って学習、予習をやっているのかどうか、ちょっとそのデータはまだ見てないんですけども。それともう一つは、ここには県立中学校に行くような子が比率としては高い。去年は高かった。1割。その子はほとんどトップレベルの成績ですから、それが引き上げていることもあるんですけども、ただコンディションは他の学校も同じですから、この数が何故いいのかというのを僕らはもうちょっと解析してやっていかないといけない。それを僕が持っているだけとか、風早さんが持っているだけじゃなくて、皆でそれを見てやるということがすごく大事ななあと思います。

その正反対、対極にあるのが、具体的に言ったらなんですけど、秦。ここは慢性的によくはない。事前テストをやってチェックをする。そうすると上がるんですけど、それだけでは駄目。教えるということとセットで、子どもの心を育てるのと教え方の標準化と日々のチェック。そういうことを組み合わせてやらないとなかなか成績は上がらない。

米谷委員 阿曾って地域のまとまりもいいんですよ。

山中教育長 いいです。

米谷委員 私のゼミ生も阿曾小に通っていた子がいますけど、落ち着いていると言いますか。

山中教育長 でないと、こんなに急速に上がらない。

米谷委員 今、今年度の県の生涯学習課が、土日放課後を使った地域の方を、特にスペシャリストを招いた授業を、というのがあったと思うんですけど。今まで放課後こども教室の予

算をそちらに持って行って、国自体がそちらに持って行って、それを教育課程の中にも組み込めるとか何とかというものがあつたと思うので、そういうものを活用されれば。それは学力向上のために放課後を使うというようなシステムなので。これもまた来年の話になっちゃいますけど。今年はなかったかも。

下山委員 今の最後のページのグラフ、中学に入つての中1から中2への学力の移行についてちょっと教えて下さい。

風早学校教育課主幹 先ほどの教育長の頑張る学校応援事業とも関わるんですが、これ、去年の中学一年生の岡山県学力学習状況調査と、今年市独自で中学校2年生と小学校5年生で学力調査をいたしました。ここに書いてあるものは、ちょうど4つの中学校が、中学校に入った子ども達が1年間勉強してどのように変つたのかというものが現れているかなと思います。枕詞のようになりますが、当然学力の一部の部分ではあると思いますけども、グラフの推移は先ほどと同じで縦軸が差なんですけど、今回は市独自のテストのために、基準が総社市の平均点でしかちょっと比べてなかったんですけども、そういう形でみますと、縦軸が差、横軸が平成25年の中1と平成26年の中2という風に表しますと、一番上東中が去年との差が1.5ポイントが2.2ポイントになっていますよと。その下ですね、先ほど言いました総社中学校。入つた時は非常に低かつた。4つの小学校から集まつて入つた時は、やってみるとマイナス2.8ポイントでした。それが、プラスの1ポイントになっていますよという形で急上昇できております。市の平均を基準にしておりますので、当然、上がる学校と必ず下がる学校が出てきてしまいますけど、昭和中がマイナス1ポイントが1.5ポイントへ。それから総社西中がマイナス0.8ポイントがマイナス2.7ポイントへと。平均をゼロにした関係でこういう形になっていますが、少なくとも総社中学校の去年一年間で、ぐんと上手に作用しながら上がったということは、これで説明がつけれるかなと思っております。以上でございます。

下山委員 中学の場合は、小学校のような放課後の支援ボランティアさんの指導とか、いろいろあると思うんですけど、中学はそういうの入つていますかね。地域の方が。

風早学校教育課主幹 今年度からなんですけども、今の放課後学習サポートという、先ほど教育長が申しあげました東小学校がやっているのと同じように、中学校でも西中学校とこの総社中学校で県の事業でとっております。で、やっています、中学校の方はファジーな形でさせていただけるので、きっちり決まつた水曜日、水曜日だけでなく、例えばテスト週間の時とか、まとめてとか、夏休みを認めていただいたので、総社中学校ではこの夏休みは、例えばテニス部の子が練習をする前に、テニス部の子が勉強をする時間を作るとか。野球部の子が練習した後に、ちょっと涼しいエアコンの効いた部屋で勉強をする、そのサポートに非常勤講師の先生に入つていただきながら勉強をみてもらうとか、そういう形で今取り組みつつあります。去年は昭和中学校は地域のボランティアで、かなり新聞の方にも載つていたと思うんですけども、テスト週間を中心にやったり。西中の方もホリデーわくわくというのを、とつていた事業を使いながらやっております。そういう形で中学校もそれぞれがい

ろんな形で放課後の学習をしているような形です。以上でございます。

下山委員 ありがとうございます。

林委員長 他に何かありますか。

山中教育長 ちょっと追加しますとね、総社中学校の1年生、だから今2年生ですね。この1年間ですごく落ち着いたんですよ。で、最初1年生でスタートした時は非常に問題があって、県の加配をつけてもらって、先生方も努力をしていただいたので、この前行ったら従来と比べましたら非常に落ちついていました。それがこの差です。うろうろする子もないし、うるさい大きな声を出すのはいない、教室に入れないうみみたいなのがいたのがなくなってきている。

東先生、追加することがあったら何か。

東学校教育課長 じっとしておれなくて、思ったことを言ったり、自分の席に座っておれない子がいたんですけども、小学校時代の時からもう連携を始めていましたけど、保護者とか医療機関とか学校とかと連携が非常にうまく進んで、本人も自分からこのままではいけないと、投薬なんかに本人が自分の意思で踏み切って、すごく落ち着いてきている。で、その子がちょっとかき混ぜた感じになっていたのが、それがなくなったので、それが現れていると思います。

三宅委員 個別のことになってしまうんですけど、去年総社中の3年生で登校ができないと行って相談に来られてうちの方で診たんですけど、本当に担任の先生がすごい熱心というか、何とかしてあげなきゃいけないと言って、2回くらい学年主任と学級担任とうちの方で話し合いをしているいろいろやって、結局進学はしております。先生方が一生懸命考えて、今教育長も仰られたけれど、連携をして、信頼関係ができたことが非常に大きいと思いました。非常に頑張られたと思います。

林委員長 主幹が説明されましたけど、要はその要因というか質的なところに目をやってですね、それで生かせるところはそれを全市に広げていくということが大事なかなと思います。それから、やはり頑張った学校はやっぱきちんと認めてあげるといえるのか、それが大事なかなと思います。よろしくをお願いします。

林委員長 次に「頑張る学校応援事業について」事務局から説明をお願いします。

東学校教育課長 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明に対するご意見、ご質問等はありませんか。

これまでの教育長の説明からだいたいイメージはできていたんですけど、具体的にはこういう風な要綱をもって実施されるんですね。これ使えるのはどうやって使うんですかね。使った後どうやって報告するんですか。

山中教育長 一括交付金と一緒にしよう。

風早学校教育課主幹 はい、今教育長仰られた一括交付金とよく似ているんですけど、研修

の費用であるとか学校の中身の充実とかに使って、今4枚目にあるような形で計画書の方を提出をするという形で、項目、費目を決めた状態での申請を出して使っていくという形ぐらいしかまだ、こちらの方でまだ十分勉強できていない状況です。

林委員長 使い勝手がよければいいですけどね、細かいことを明示されたら事務も大変だろうなあと思いました。じゃあこの件はよろしいですかね。

林委員長 次に「エアコン室外機の盗難について」事務局から説明をお願いします。

佐近生涯学習課長 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明に対するご意見、ご質問等はありませんか。

これは基本的には指定管理者というのは自分の責任において管理・運営するというのが大原則なんですかね。その辺のことがよく分からないんだけど。

佐近生涯学習課長 指定管理者制度というのも、役所の代わりに管理をするというぐらいな大きな位置付けがあると考えております。ただ、実際金額、指定管理をする時のいろいろな取り決めの中で、50万を基準にそれを超える物は市がするとか、未満は指定管理者がするとか取り決めがあるんですけど、今回の場合は、再三のこちらの指導にも関わらずこういうことが起きたということで、基準以上の金額なんですけれど、指定管理者の方で対応するというようお願いしているものでございます。

山中教育長 いつ設置完了するのですか。

佐近生涯学習課長 設置の完了はまだ聞いていないんですが、早急にとということで再三にわたって連絡しております。

山中教育長 発注してるのですか。

佐近生涯学習課長 発注はまだ確認できておりません。

山中教育長 確認して、発注計画出してもらってください。

佐近生涯学習課長 はい、分かりました。

林委員長 他にどうですか。

下山委員 お願いですが、小学校中学校関係もこれからエアコンがつかますが、新しい室外機があちこちにつくわけでありまして、どこへ置くかは分からないけれど、職員室以外、外につくわけだから、そこら辺の学校での管理についても一言またお願いできたらなあと思います。

林委員長 他にどうですか。よろしいですか。

林委員長 次に「西公民館久代分館の概要について」事務局から説明をお願いします。

佐近生涯学習課長 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明に対するご意見、ご質問等はありませんか。

米谷委員 これってまだまだ先の話なんですけど、出来上がってどういう風な管理というか、

地元の方がこれ管理というか、されるんですかね。

佐近生涯学習課長 分館は基本的に分館長というのはもちろん地域の方でありまして、地域の方々が助け合いながらするというスタンスをとっております。ただ、必要な経費につきましては、市の予算で、光熱費とかいろいろ発生しますが、そういったものは市の予算で執行されていきます。

米谷委員 どんどん使っていただいたらいいですね。

林委員長 他にどうですか。

下山委員 川西の方に住んでいながらよく分からないですけど、今は久代分館はどこにあるかというのはいいんですけど、その後のそういう建物の使い道というか、そのまま放っとくのか壊すのか、地域の方が何かで使うのかによってもまた違うと思うんですけど、教えて下さい。

佐近生涯学習課長 基本的に古い建物は壊したいというこちらの希望があるんですけど、壊すのに大変な金額がかかるということで、ほとんど財政当局の方で取り壊すところまで決めていただけないところがありまして、実際使えないから新しく建てるという意味合いもありますので、それを積極的に使うというのもちよっとどうかなと思いますので、倉庫としては使っていくという形で考えております。以上です。

下山委員 はい、ありがとうございます。

林委員長 来年の4月に使用開始するということですよ。ちなみにこういう風な計画から完成まではだいたいどれぐらいかかるものなんですか。

佐近生涯学習課長 用地買収をする。その用地買収の前に県に税金控除の申請をするということもありますので、だいたい全体で3年くらいです。

林委員長 次に「文化財保護審議会の経過報告について」事務局から説明をお願いします。

谷山文化課長 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明に対するご意見、ご質問等はありませんか。

米谷委員 よく知らないのですが教えていただきたいのですが、漆芸っていうのは漆のですよ。

谷山文化課長 はい。追加で、実はこの県指定になっているのは、難波仁斎という方が、岡山県で描藪齋というものを初めてはじめられまして、その方が県の指定になりまして、現在その方亡くなられて、そのお弟子さんが今の県指定の無形文化財になっております。で、今回出ているのはまたその方のお弟子さんということになりまして、前者2人とも岡山市に住まれておりましたので、岡山県で認められたものという形になっております。

米谷委員 ありがとうございます。

林委員長 ちょっと教えてほしいんですけど、無形文化財に指定されたら、その方っていうのは今までとどう違うんですかね。

谷山文化課長 基本的には指定するのはですね、やっぱり保存を継承していくために市が補

助したり援助できるということで指定するというケースがほとんどですので、例えば伝統的な技術、またはそういう伝承が途絶えないように援助するということになります。先ほど言いました二件ともですね、総社市で昔から継承されているものではございませんので、これを指定するにはどういう方法があるのかまで、どういう状況でやっているのかということの研究させて欲しいということで、今研究しておりますので。そうですね、踊りとかは無形文化財になるんですが、それは江戸時代から例えばずっと継承してきていると。ただ、継承者が減ってきているので援助が欲しいという場合は指定にしてやって、例えば衣装であるとか、いろんなことで援助するということが可能でありますので、そういうものが主なものになるかと思えます。保存するための援助は市ができるということで。

林委員長 そういう風な援助ですね。はい、分かりました。僕は人につくのかと思ってたら違うんですね。

林委員長 次に「第2回総社芸術祭について」事務局から説明をお願いします。

谷山文化課長 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明に対するご意見、ご質問等はありませんか。

第一回をやった時に、たぶん議会からもいろんな質問がきてたなということを思いますが、その意見の、ここのところは改善して実施するように考えているとか、何かあったら教えてください。

谷山文化課長 特にですね、問題になりましたのは、PR不足というのが大きくあったと思います。ですので、今回は事業内容を見直しまして、主要事業と応援事業に分けまして、主要事業が始まる前、今年の10月から応援事業を始めまして、応援事業には2015のその第2回の総社芸術祭という看板を付けさせていただいて、ですから前段からかなりPRしていくということをさせていただこうと思っております。それでもう一つは実際に行う団体が弱いということもありまして、初めてとういこともございましたので、やり方がうまくいっていませんでしたので、今回は実行委員会に絞りまして、実行委員会が中心になってやるという風な改善をおこなっているところであります。

林委員長 なるほど。他にございますか。

林委員長 次に、「報告事項等」に移ります。

林委員長 次に「不祥事未然防止研修（中間報告）について」事務局から説明をお願いします。

東学校教育課長 【事務局説明】

林委員長 ただいまの事務局の説明に対するご意見、ご質問等はありませんか。

小鍛治委員 部活動を複数の先生が出るというのが一番いいと思うんですけど、交代で休み

になると一人で先生が出られると。だけど、そういう時にもし大きな怪我とか大きな事故があったりした時に対応ができないと思うので、その辺はもうはっきり謳ってしまった方がいいんじゃないかなと。先生が出られないのであれば、その時間帯はもう生徒は練習しないと、それぐらいははっきりした方がいいんじゃないかなあと思います。

林委員長 では、まとめて。他に何かありませんか。

下山委員 裏の研修についてで質問なんですけれども、若手研修といえば、経験年数か年代かなと思っていたら、今二十代とか三十代と言われました。それで、四十代は弱音を吐けないという傾向というか様子があるので、その経験年数が四十代でも少ない人は、やはりこういう困っている事、悩んでいる事が多いので、若手研修に入れられたら、そういう悩みが言いやすいのではないかなとちょっと思いました。教員って経験年数で言われるのは最初の時だけで、その次はだんだん年齢で言われるので、この経験、10年ぐらいの間の方はこちらに入るといいかなと思いました。

林委員長 他にございますか。

三宅委員 体調が悪くて来られる方で、やっぱり部活が、本当に中学生の場合は大変そうで、朝練があって、それから午後練って何時ぐらいに帰るのといったら6時か7時近くになって。で、勉強してそれで塾も行って、部活もあって。で、親よりはものすごく働いてるねって言うんですけど、そしたら親も納得してくれるんで。疲れてるよって、ちょっと休ませてあげて欲しいなという気は非常にします。それは疲れた中でやって、本当に身のある練習になるのかなってというのは思いますね。で、一年生の子で吹奏楽をやってるんだけど、本当に頑張ってると思うと、他所から変ってきたばかりで何とか溶け込もうと、頑張ってる全部出て、お風呂の中で寝てるって言うんですよ。それは危ないから休みなさいと言って。たまたま行った時に顧問の先生に話をしたら、その子の話をしたら、顧問の先生も「分かっとう」って言って、「休めって言うけど休まんのじゃ」と。休めるような状況に周りからしていただけたら。親には休みなさい、本人にも休みなさいと言ってもなかなか難しいみたいです。で、練習に出てこないとか大会には出さないとか、そういう風に言われて、頑張ってる大会に練習に行っている。身体壊してまですることじゃないんだということはお話したんですけど、かなり職員の方もですけど、生徒の方もプレッシャーがかかっております。

林委員長 一日休むと三日遅れるというのがありますからね。それから団体だから一人不協和音を出すわけにもいかないし。なかなかそこら辺のところも難しいと思いますけど。

米谷委員 スポーツに関わることなので言いますと、やはり休養をとらないと。スポーツってやはりいかに集中してやるか、先ほどの話にもあった、いかに短時間に集中してやるかっていうところも大事なところで。運動は健康だけじゃなくて、スポーツのパフォーマンスにも関わることなんで、長くだらだらやるのは疲労骨折を起こしちゃいますから。やはりその辺りきちっと、最初に小鍛治委員言われましたけど、生徒にとっても先生にとってもきちっと決めて。例えば自分は今日は休みだからと思っても、生徒がやってると思ったら先生気が

気じゃないと思うので。休めないんじゃないかなあとと思いますから、やはりこの案で出ているように、しっかりやらないならやらないで統一された方がいいんじゃないかなあとと思います。

東学校教育課長 ありがとうございます。小鍛冶委員が仰ったのは、一人だけで見てる状況はよくないということでしょうか。

小鍛冶委員 それもあると思いますけれども、例えば一人でその先生が見れない時もありますよね。何か仕事があって部活が出れない時もあるって、生徒だけおりっぱなしになってしまう。

東学校教育課長 休日については、必ず教員が居ないとしちやいけないことになっております。

小鍛冶委員 休日じゃなくても、例えば急用があって、二人居れば交代でなったりしますが、そういうことはないんですかね。

東学校教育課長 平日につきましては、必ず張り付きでその場におれるかというところと実際にはそうではないので。同じ校内に大勢の教職員がいますので、顧問以外にも大勢の教職員がいます。何かあった時には対応はできます。休日っていうのは、顧問関係、顧問の人しか来ないです。

小鍛冶委員 一人しか来ないということですね。

東学校教育課長 基本的には一人でしますけど。

小鍛冶委員 周りにおられる。

東学校教育課長 スタッフに余裕があるところは2人、3人で土日の練習なり試合なりを見るというのはあるんですけど。ただ、何か起きた時の対応というのはしないといけませんし、何か起きたらすぐ止めたりとか帰らせるということはありません。

それから、研修のやり方、グループの分け方ですね、二十代、三十代と言ってしまったんですけど、経験年数で一応指定をしております。7月29日の方は、経験年数が10年以内の人達。それから幼稚園は5年以内にしておりますけども。人数の関係でバランスを見て。

それから、8月4日はそれ以外の人達ということでしております。が、現実には夏休みにもいろいろご予定が詰まっておられたりしまして、逆の方に行く人も実は大勢おられるんです。ですからもう、集まってきたその日の事前に届けられている申込書を見て、で、やっぱりその人達の経験年数や職掌等で考えていきたいと思っております。先ほどの点もふまえてやりたいと思います。

それから、本当にオーバーワーク気味で、本当に圧力をプレッシャーをかけあって、それで切磋琢磨といえど切磋琢磨なんですけども、限度があると思えますし、本当に委員も仰ったように、適度な休みをすることによって力も逆に高まるということもありますので、その辺もまた伝えていきたいと思えます。

林委員長 私の方から部活動の指導上の留意事項の中でですね、平日の部活動は一週間に一

日以上休みにするという風なところで、さっきの東中の校長の話。週末試合が予定されている場合はどうのこうのという例外措置のこともちょっと言われていたと思うんだけど、そのところどうするのかなあと。それと関連してですね、3番目の部活の顧問は可能な限り分担するなどして、土日を含む一週間に一日以上休むというのは、1で休めば3はクリアできるのかなと思うんだけど、そういうことはないんですか。

東学校教育課長 1と2には原則とするというのを書いてあるのが、そこが結局、大会の直前とかどうしても続けてしたい、練習量を確保したいという場合に、そこはもう譲ろうかなということで入れています。ただし細々と、もう「大会の直前は」とかいうことは書かないことにしました。大会といっても、もういろいろなものがありまして、中体連や中吹連のオフィシャルなもの。年に1, 2回しかないようなものから、ローカルな大会とか、これも大会なんだ、これも公式戦なんだと主張されたらそこは判断が難しいところですので、細々書くのはやめまして、もう原則とするとして、そこから先は校長先生のご判断でと考えています。ちょっと弱いかもしれませんが。

それから、三番目の土日を含む一週間に一日以上休めるというのは、ちょっとこれ確かに表現が足りないかもしれませんが、意図としては、一日すっかり何もしない。勤務はしないという意味です。ですから、部活動の指導を休むという意味ではなくて、勤務日ではない日を一日とるという意図ですので、当然土日のどちらかを教員の方は休んで欲しいと、そういうつもりです。ちょっと言い回しを修正します。

林委員長 そういうことですね。分かりました。じゃあよろしく願いいたします。

林委員長 他に報告事項等はありませんか。

佐近生涯学習課長 【小宮山紀子氏の日本画作品の寄贈について報告した】

林委員長 他に報告事項等はありませんか。

三宅委員 これはこの前、岡山小児心身症研修会で発表させていただいた症例なんですけど、東中の子の話なんですけど、脱力発作を起こすということで来られて、発達障がいのあるお子さんだったんですけど、小学校から中学校へはまあ大丈夫だろうということで来られたみたいなんですけど、やっぱり小学校から中学校ではすごくやること変って、非常にストレスが溜まっていると発作を起こしたりしまして。読んでいただいたら分かるんですけど、私達の医療機関と家族、それから学校の方と連携をとりながら、それぞれのストレスを少しずつとるような方向でいい方向に向かっていますが、やはり脱力発作の方は今でも起こしております。それで、ちょうどこれから思春期の難しいところになってきますので、これからは学校と家族と医療機関と私達も含めて連携をとって対応していきたいなど。ちょうどこの時にその部活で3, 4人くらい同じように脱力発作を起こす子がおりまして、それぞれお互いに影響し合いながら悪くなって行って、いろんな病院の方にかかっております。で、うちに来ている

この子の場合、家族の方のフォローの体制もしっかりしているし、学校の方とも連携を取りながらやっているの、なんとか今は午前中だけ登校をしながらやっております。この子の場合、戦争とか何とかそんなものがすごい不安だったので、授業の方で2年生に平和学習がありますよね。その分の一年生の時に、国語の授業で戦争の話をするのに非常にそれがストレスになって脱力発作を起こす。そういうことに気がついたものですから、学校の方に保護者の方から話していただいたんですが、ちょっと理解がなかったの、私達の方から養護教諭の先生に言って、学校の方で話をさせていただくようにして、授業を受けなくてもいいという方向で、そういう風な対応をとっていただいて落ち着いたんです。そういうようなことを書いておりますので、また読んでいただけたら。個別の子ども達がどうなのかということと、その子達に対する対応が、やっぱり学校だけでは無理なので、家族とか、それから医療機関の方で。中学卒業して高校とか行きますが、そうすると繋げていくということが大切なので、そのところをまた。ちょっと参考までに。

林委員長 ありがとうございます。この件について何かお尋ねしたいことはありますか。よろしいですか。

三宅先生、脱力発作というのはよくある症状なんですか。

三宅委員 ないんですよ。本当にびっくりしました。本当に足が動かなくなるんですよ、ずっと痺れて。いろいろ検査をしましたが、身体の方ではあんまりないんですけど、たぶん脳の方のストレスから動かないようになるんでしょうね。で、痺れたような感じかなと思うんですけど、数時間すれば戻ってくるんで。

林委員長 ありがとうございます。よろしくお願いします。

林委員長 それでは、次回の教育委員会の日程についてであります。既にご承知のとおり、8月11日午前10時から開催いたしますので、ご参集願います。

この際、9月の教育委員会の日程を調整いたしたいと思っておりますが、事務局から提案願います。

(9月の教育委員会について日程調整)

林委員長 では、9月の教育委員会は、9月24日午後3時から開催いたします。

林委員長 では、最後になりましたが、議案第19号「平成27年度使用小学校教科用図書の採択について」の審議に入ります。

本件については、教科用図書に係る議案であり、案件の内容から非公開といたしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

林委員長 では、本件の審議は非公開といたします。

【非公開審議】

林委員長 では、これで審議がすべて終了いたしましたので、本日の教育委員会を閉会いたします。

閉会 午後0時23分